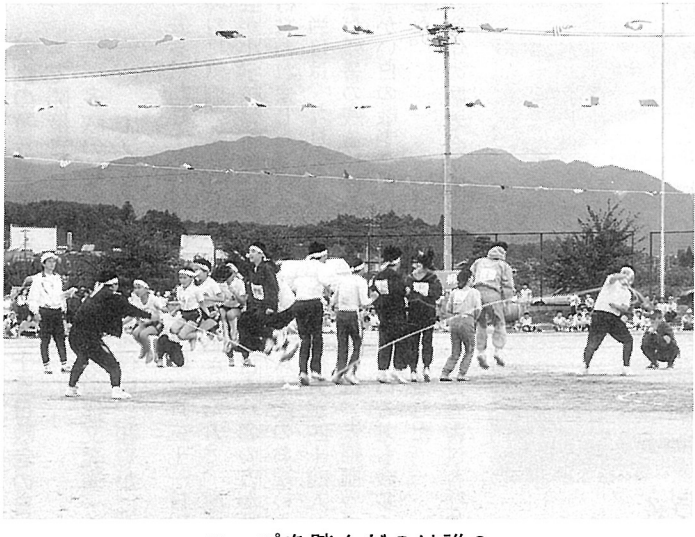


弾ける大歓声「体育の日」

新企画盛り沢山



ロープを踏んだのは誰？

今年の竜丘地区市民運動会は、「日程の変更」と言う長い運動会の歴史の中でも初めての経験をしました。変更する様になった理由としては、一つに文化祭と日程が近く、地区の皆さんや役員の方が大変であり、又定期的に陽気が穏やかで運動会に適していること。そして、時勢により農繁期との重複による支障が少なくなくなったが上げられます。昨年度来よりの慎重な協議の結果、今年度より十月十日の体育の日の開催となりましたが、時期が早まった分、それなりの苦労があったと思われまます。

今年の竜丘地区市民運動会には、「日程の変更」と言う長い運動会の歴史の中でも初めての経験をしました。変更する様になった理由としては、一つに文化祭と日程が近く、地区の皆さんや役員の方が大変であり、又定期的に陽気が穏やかで運動会に適していること。そして、時勢により農繁期との重複による支障が少なくなくなったが上げられます。昨年度来よりの慎重な協議の結果、今年度より十月十日の体育の日の開催となりましたが、時期が早まった分、それなりの苦労があったと思われまます。

明け方までの強い雨も上がり、青空のもと恒例の竜丘市民運動会が開かれました。今年度より十月十日の体育の日へと日程の変更がありました。選手の皆様は日頃の練習の成果を精一杯発揮して、楽しい一日を過ごせたことだろうと思います。

影響を受けたものの、前日の準備は誰もが「どうせ明日も雨だろう」と思わせるような空模様でした。しかし十月十日は「晴れの特異日」。朝三時迄には雨も上がり、六時には「決行」の花火が轟き、水たまりの残るグラウンドで大忙しの準備、何とか開会式に間に合った。今年の運動会では、日程の変更の他に種目の変更も数多くありました。例年、運動会のフィナーレを飾っていた年次リレーが午前中に回り、代わりに年次ムカデ競争が入ったり、又一般種目にも点数制が取り入れられるなどプログラムの上にも例年にないものが見られるなど、



仲よし二人組

当日は朝までの雨の影響で出足は今一つでしたが、最初の分館種目、メドレーリレーが始まる頃まではかなりの参加者で盛り上がり、メドレーリレーでは例年通りのトラック競技の麻袋でスタートし、何種目かをトラックで行った後に、フィールド内での満水リレーから再びトラックへ出ての競技と変則スタイルをとった為、選手や役員が戸惑う場面がありました。選手への頑張りに各分館ごと応援の方にも次第に熱が入って来ました。そして今年度より変更になった年次リレーのスタートによって運動会前半の盛り上がりは最高潮に達しました。

また、当日は朝までの雨の影響で出足は今一つでしたが、最初の分館種目、メドレーリレーが始まる頃まではかなりの参加者で盛り上がり、メドレーリレーでは例年通りのトラック競技の麻袋でスタートし、何種目かをトラックで行った後に、フィールド内での満水リレーから再びトラックへ出ての競技と変則スタイルをとった為、選手や役員が戸惑う場面がありました。選手への頑張りに各分館ごと応援の方にも次第に熱が入って来ました。そして今年度より変更になった年次リレーのスタートによって運動会前半の盛り上がりは最高潮に達しました。



発行所
市電丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田22-5353

人口	6,446人
男子	3,107人
女子	3,339人
世帯数	1,817戸
(3年9月末現在)	

技が続きました。さて、応援団席の様子はというと、各分館共小学生を中心にタスキにハチマキ、日の丸扇子を手にという姿で、大ダイコや笛に合わせて一生懸命の応援合戦を繰り広げ、分館選手の活躍に大声援を送っていました。プログラムも終わりが近づくと、各分館の応援のボルテージも最高となり、年次ムカデの女子、男子のゴールをもって興奮のうちに今年度の市民運動会も幕を閉じました。大会結果は、一般種目で

もコッコット得点を重ね、年次ムカデ男女で優勝した時又が二年連続優勝をしました。おめでとうございませう。今年度の運動会を終えてみて、誰もが楽しく参加でき、又各分館が一致団結し

消防団さまがわり

ハツピから作業服へ

消防団といえば、だれでも頭に思い描くのは、あのハッピー姿ではないでしょうか。ハッピーは、消火活動の象徴といってもいいかも知れません。しかし最近ハッピーの機能性に疑問を持つ方々もあつたようです。



確かに消防活動、特に消火活動時においては、ハッピーの形態が迅速な行動を妨げる可能性も

あります。そこで飯田市消防団は、今年度、消防作業服を導入

に、予防消防活動があり、現在では、この予防消防活動

も事実です。こういった練習場などはまだ問題として取り上げられてはいません。それだけまだゴルフ人口にみあうだけの施設が不足がちで、利用者も多く、夜遅くまで営業しているの、仕事が終わった後で、健康作りの一貫で、といった感じで利用されているようです。

こういったゴルフ練習場や、ゴルフ場等、様々なゾート施設などの環境に対する影響などから各地で建設反対となえるケースが増加しています。しかし、それを反対しているにもかかわらず、ゴルフを實際にやってみれば、こうおもしろくてやめられない。こういった人達も実際には多いと思います。ここで一般論を書いてもしょうがありませんが、身近な事として今、夜空が明るすぎると思いませんか。みなさん十年くらい前の夜空を思い出して下さい。もっと多くの星がまたいたと思いませんか。大気が汚れている事もありますが、夜間の照明が急に増加しているのです。今環境問題がクローズアップされていますが、省資源、省エネルギーといった事も同様に考える時期ではないでしょうか。

歴史を読む

「竜丘古文書勉強会」

今回は、この程強したい方など年配者を中心に女性十二名を含む三十名の方々が集まり、勉強会を最初は十日に一回のペースで四回実施し以後は、月二回開催し、その都度宿題を出し、家庭でも勉強して

「古文書を読むこと、それは歴史を知り、学び、文化に直接ふれることです。」と代表者の今村さんは語っておられました。九月から始まった勉強会では、古文書のなかでも近世文書(江戸時代の特徴あ

る文字)を地区内の旧家から資料としてお借りし、桐林村・検地帳「桐林村・土地名寄帳」があり、その中では勉強会を通じて竜丘村誌に出ている寛文六年の検地による桐林村の石高が、七九七石七斗九升一才であることが確認できたとのことです。



この字、なんの字……

厚手の生地であった紺色の上着・スポン・ベルト・略帽からなり、胸に階級章、肩に分団章がついています。そしてこの作業服は、訓練、非常時の出勤の際に着用され、この他の式典、会議等にはハッピーを着用します。長年ハッピーに親しんできた団員の方々も当初は抵抗感があった様ですが、今ではおおむね好意的に受けとめている様です。なお、消防団の活動は、実際の消火などの活動以外に、予防消防活動があり、現在では、この予防消防活動

祝 長 寿

老いてますます意気さかん

91年度敬老会盛り上がる

恒例の竜丘地区敬老会が九月十五日敬老の日に、竜丘小学校で開催されました。

多数の該当者を迎え、子供の作文発表・人形劇・地域のゲループによる芸能発表を行い、和やかに秋の一日は過ぎました。

去る、九月十五日、敬老の日に恒例の竜丘地区敬老会が小学校体育館に於いて行なわれました。

当日は、九月中旬のまだまだ残暑の残る一日となり暖かい日の敬老会となりました。

今年の敬老会該当者は、



八十才 おめでとう!!

大正六年三月三十一日以前に出生された方で、竜丘地区の下の平つるへさん、明治二十八年三月十日生まれ、二番は、時又地区の中島みつさん九十六歳でした。今後も益々健康で、来年も又その次もと、願いを込めて紹介されていきました。

今年の敬老会は、朝九時半に文化部副委員長の開会の辞で幕が開け、主催者である公民館長のあいさつ、来賓祝辞があり、続いて、小学生の作文朗読を四年生の吉井まみさん、五年生の森洋平くん、六年生の高橋知美さんと行ない、会場からは、大きな拍手が送られていきました。

続いて、八十歳のお祝いが行なわれ、記念品贈呈、主催者祝辞「社協竜丘分会長」、代表者謝辞と続き、休憩を挟み、記念行事へと入っていきました。

記念行事は、「竜丘小学校の子劇団II」の皆さんによる人形劇、演目「黒兵衛・白兵衛・黄兵衛・茶兵衛・桃兵衛」でした。

児童のみなさんが、自分で粗筋を考え、人形を作り、練習を重ねてきた成果を披露され、参加者から絶大な拍手、声援が送られ、共感を呼ぶとともに、式典に華を添えました。

祝宴に入ると、地域グループによる芸能発表が始まり、保育園児の皆さんの花笠音頭、ドラゴンボールの踊り、

館報縮刷版 発刊決定

予約注文十二月より

第一回館報縮小版刊行委員会が自治会役員をはじめ、本館、分館役員、地域団体等多くの方々の出席をいただき、過日開かれました。

これにより発刊、予約注文、販売に向けて地域全体

小学校ブラスバンドの演奏、各地区民踊クラブによる踊りと続けて行なわれ、この頃には、少々お酒もまわってきたか、楽しい笑い声が随所に聞かれる様になり、詩吟、コーラス、飛び入りコーナート、大変盛り上がり、楽しい祝宴会となりました。

最後に「里の秋」の合唱をし、「五十や六十花なら蕾、七十八働きざかり、九十になつて迎えが来たら、百まで待てと追い返せ」を合い言葉に、会を終えました。



力を合せて ワッショイ ワッショイ

十五年ぶりの煙火 桐林八幡社

去る十月十三日の日曜日、十数年ぶりとして、寄付に桐林八幡社の社務所改築により一五〇発程の打ち上げとなりました。

供のきおい、煙火の打ち上げが盛大に行われました。

きおいは、午後三時に桐林区民センターを出発各常会の神輿を子供が担いで桐林信号を通り、古瀬・南平を通過して八幡社へ向かい

した。めったに担いだことのない神輿を担ぐ子供は、いささか戸惑ったようすが、すぐに掛け声を掛け元気良く担いでいました。

神社へ着いた後、全員で神主さんより御祓を受け、お菓子をもらって家路に着きました。

メインの煙火は、午後六時三十分より打ち上げが始まり、各常会、企業、個人寄付の見事な煙火が打ち上げられました。各戸に番付が配布されていたので、次はこの煙火かと思われたのではないかと思います。

煙火の見物客は神社だけでなく、国道沿いの商店の駐車場には車を止めて煙火見物する人も多く見られました。

午後八時にはクライマックスの三国の打ち上げときおいが神社で行われ、祭りも最高潮に達し秋の一日大いに盛り上がりしました。

鉛筆について

「物は人の心をやさしくしてくれるんです。」と、木に自分の思いを込め彫り続ける岡村都さん。富山県で木彫を五年間学び、二年前に桐林の自宅へ戻り木彫を続けられています。

木彫に自分の思いを

桐林 岡村 都さん



木彫を始めたのは父親が大工で小さい頃から木に親しみ木の持つあたたかい感じが好きな事と、形に残る物を自分の手でつくりたいという思いからだそう、ここまで来るには、苦しい事やうれしい事色々あったけれど、自分の作品を見て励まされたという声を聞き頑張ってきたと笑顔

「物は人の心をやさしくしてくれるんです。」と、木に自分の思いを込め彫り続ける岡村都さん。富山県で木彫を五年間学び、二年前に桐林の自宅へ戻り木彫を続けられています。

「物に人の心をやさしくしてくれるんです。」と、木に自分の思いを込め彫り続ける岡村都さん。富山県で木彫を五年間学び、二年前に桐林の自宅へ戻り木彫を続けられています。



作品に取り組む岡村さん

「物に人の心をやさしくしてくれるんです。」と、木に自分の思いを込め彫り続ける岡村都さん。富山県で木彫を五年間学び、二年前に桐林の自宅へ戻り木彫を続けられています。

「物に人の心をやさしくしてくれるんです。」と、木に自分の思いを込め彫り続ける岡村都さん。富山県で木彫を五年間学び、二年前に桐林の自宅へ戻り木彫を続けられています。

夜間バレーボール 早起き野球 閉幕す

夜間バレーボール 早起き野球 閉幕す

四月二十一日に開幕した平成三年度竜丘早起き野球も、八月末にはリーグ戦を消化し、十一月四日の閉会式をもって全ての日程を終了しました。

今年度は、昨年よりひとチーム少ない十一チームの参加でしたが、準優勝が同率で三チーム出る異例の大混戦となりました。しかし、最多で十六チームあった時期より、年々減少傾向が強まっている事は残念です。

夜間バレーリーグは、四月十九日に開会し、毎週金曜日小学校体育館にて熱戦が繰り広げられました。一度家庭に入るとなかなか出掛けにくくなるのが実情ですが、家族の協力もあり今

結果は次の通りです。

夜間バレー	原	原	原
早起き野球	原	原	原
優勝	原	原	原
準優勝	原	原	原
3位	原	原	原